

<事業名> 「食」と「健康」を考える

団体名	新温泉町えごま研究会
所在地	美方郡新温泉町
代表者名	谷口正友

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進効果が期待できるとして需要が高まりつつある、えごまに含まれる栄養について学び、食を通じた健康づくりに理解を深め、また、えごまの特産化の取り組みについて知ってもらうことで、耕作放棄地や農業の担い手不足の問題に関心を持ってもらうきっかけになるよう「食」と「健康」を考える講演会を開催。 ・開催日 令和2年11月29日(日)13:30～ 県立但馬牧場公園、まきばの宿 ・参加者 70名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> えごま研究会の活動紹介…谷口正友氏 講演会…講師：服部圭子氏（日本エゴマ普及協会会長）～オンライン講演 演題…「食」と「健康」を考える～作って元気、食べて元気～ 試食会…すり黒えごまを使った加工品の試食 																		
地域	但馬全域																		
事業の効果	<p>① 団体（組織）内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究会は、えごま生産者で組織しており、生産から販売まで生産者が主体となって行っている。講演会の開催により、より専門的な知識を吸収するとともに、試食会や参加者の意見を聞くことで、えごまの栽培、加工、販売の6次産業化など、さらなる事業展開が期待できる。 <p>② 地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の食生活の重要性を再認識するとともに、健康維持の意識が醸成される。 ・地元農産物への関心が高まり地物農産物の消費拡大や生産拡大への意欲が高まる。農産物の特産化の取り組みが但馬地域に波及し、地域の活性化につながる。 																		
事業経過	<table border="0"> <tr> <td>2年7月17日</td> <td>事業打ち合わせ～開催要領の内容等の検討</td> </tr> <tr> <td>2年8月18日</td> <td>事業打ち合わせ 啓発方法、スケジュールの検討</td> </tr> <tr> <td>2年9月23日</td> <td>事業打ち合わせ～日程確認、内容確認</td> </tr> <tr> <td>2年10月15日</td> <td>事業打ち合わせ～チラシ、開催案内、講演会資料協議</td> </tr> <tr> <td>2年11月5日</td> <td>チラシ配布（町内）・関係機関送付（但馬管内）</td> </tr> <tr> <td>2年11月20日</td> <td>事業打ち合わせ 講演会準備、当日運営、役割分担等の検討・確認</td> </tr> <tr> <td>2年11月29日</td> <td>講演会開催 取組紹介、講演会、試食会、意見交換会等</td> </tr> <tr> <td>2年12月23日</td> <td>事業反省会 実績報告、課題、問題点の検討</td> </tr> <tr> <td>3年1月20日</td> <td>事業打ち合わせ 総括、今後の取り組みについて検討</td> </tr> </table>	2年7月17日	事業打ち合わせ～開催要領の内容等の検討	2年8月18日	事業打ち合わせ 啓発方法、スケジュールの検討	2年9月23日	事業打ち合わせ～日程確認、内容確認	2年10月15日	事業打ち合わせ～チラシ、開催案内、講演会資料協議	2年11月5日	チラシ配布（町内）・関係機関送付（但馬管内）	2年11月20日	事業打ち合わせ 講演会準備、当日運営、役割分担等の検討・確認	2年11月29日	講演会開催 取組紹介、講演会、試食会、意見交換会等	2年12月23日	事業反省会 実績報告、課題、問題点の検討	3年1月20日	事業打ち合わせ 総括、今後の取り組みについて検討
2年7月17日	事業打ち合わせ～開催要領の内容等の検討																		
2年8月18日	事業打ち合わせ 啓発方法、スケジュールの検討																		
2年9月23日	事業打ち合わせ～日程確認、内容確認																		
2年10月15日	事業打ち合わせ～チラシ、開催案内、講演会資料協議																		
2年11月5日	チラシ配布（町内）・関係機関送付（但馬管内）																		
2年11月20日	事業打ち合わせ 講演会準備、当日運営、役割分担等の検討・確認																		
2年11月29日	講演会開催 取組紹介、講演会、試食会、意見交換会等																		
2年12月23日	事業反省会 実績報告、課題、問題点の検討																		
3年1月20日	事業打ち合わせ 総括、今後の取り組みについて検討																		

協働相手	
今後の	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えごまの生産から販売まで、当研究会が主体となって行っており、会員も現在43名と徐々に増えつつある。生産面積も拡大しつつあり、加工品も増加傾向であるが、新たな商品の開発に取り組む必要がある。 ・新商品の開発には、専門的な知識、技術また資金が必要となってくるため、現在、町内の加工業者や関係機関の支援を受けて事業展開を図っているところである。 ・今後、さらに関係者、関係機関との意連携を深め、6次産業化を推進し、持続的な地域の活性化を図る必要がある。 <p>2 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が上昇しており当町の高齢化率は県下第3位である。人口の約4割を占め、増えつつある高齢者の健康寿命を延ばすことが地域の維持にとっても重要となってきた。 また、農業面では、近年増加している獣害、生産者の高齢化、農産物価格の低迷等による農地の担い手不足が進んでいるため、今後は、各関係機関と連携し、地域をあげて健康の維持、持続的農業の確保が必要となってくる。 <p>〈2021年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を通じた健康維持の意識を定着させるため、継続して食品に含まれる栄養成分、効能についての講演会、イベントを開催する。また本年度実施した食べ方レシピを応用した料理教室や更なる普及啓発に向け「えごまの歌（仮称）」の作成、情報発信も検討している。 ・地元農産物の商品化やPR活動を行う。



2年11月29日



2年11月29日



2年11月29日



2年11月29日